ICTリテラシー実態調査について

調査の目的

ICTリテラシー向上に資する取組の更なる推進のため、利用者のICTリテラシーに関する認識や偽・誤情報の拡散傾向等、ICTリテラシーに係る実態を把握する。

調査対象

- 調査対象 : 2,820サンプル、全国47都道府県×15歳以上（10・20・30・40・50・60代以上）×男女
調査方法 : 全国インターネット定量調査
調査期間 : 2025年3月31日～2025年4月2日
調査協力 : 山口 真一准教授（国際大学グローバル・コミュニケーション・センター）

調査項目

ICTリテラシー、偽・誤情報の拡散に関する「利用者の認識に関する実態把握」

ICTリテラシーに関する認識の実態把握等

ICTリテラシーに関する認識
ICTリテラシーに関する認識の回答理由
ICTリテラシー向上のための取組の必要性
ICTリテラシー向上のための具体的な取組
ICTリテラシー向上のための取組理由

[調査で使用した過去に流通した偽・誤情報はこちら](#)

偽・誤情報の拡散に関する認識の実態把握等

偽・誤情報の拡散経験
拡散時の偽・誤情報に対する認識
偽・誤情報の拡散理由
偽・誤情報の拡散手段/拡散した情報のジャンル
SNS・ネットの情報に対する正誤判断の基準
拡散した情報が偽・誤情報だと気付いた経緯

集計について

総務省統計局「令和2年国勢調査」の人口構成比を基にウェイトバックを行い調整